

令和3年1月27日

保護者様

糸魚川市教育委員会  
教育長 井川 賢一

## G I G Aスクールいといがわについて（お知らせ）

日頃より、当市が掲げる子ども一貫教育及び各校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、令和3年度より「1人1台端末」に代表される、文部科学省のG I G Aスクール構想を実現する「G I G Aスクールいといがわ」が始まります。保護者の皆様からのご理解いただきたく、当市が行う取組についてお知らせします。

（問合せ先:こども教育課 電話 552-1511）

色々な場面で、必要な時に、手軽に使える ICT(情報通信技術)が、一人ひとりの手に！

小学校1年生から中学校3年生までの全ての児童・生徒に、Apple社のiPadを中学校卒業時まで無償で貸与します。

※令和3年4月使用開始  
※Wi-Fiモデル

長期間の休校措置等の特別な場合を除き、学校での使用を原則としています。



- ・キーボード付き！
- ・自立します！
- ・1mの高さから誤って落としても大丈夫！
- ・水には弱いので要注意！

※普通教室に、モニターやプロジェクターなどの大型提示装置を常設します！

学習場面で、こんなことができます！ ～ 一人ひとりの興味や関心に応じて、繰り返し何度でも ～

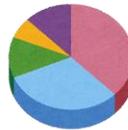
○体育の鉄棒運動など、動画を途中で止めて、見られます。動きのポイントが分かります！



○生活科や理科の学習では、アサガオの観察や水の蒸発実験の写真記録が簡単にできます！

○社会科や総合学習の調べ学習では、一人ひとりがインターネットに接続し、自分の課題を追及できます！

○アンケート機能を使って、お互いの発表を評価し、グラフ表示できます！



○キャラクターに命令して動かすなどのプログラミング体験ができます！

○合唱コンクールのクラス練習では、その場で録画、その場で視聴。指揮者も自分の姿を確認できます！



このほかにも、先生や子どものアイディアで、使い方はどんどんと広がりますよ！！



# どの学級の、どの子にも！ 学年に応じた「機器の操作技術」と「情報モラル」を！



市内共通の年間指導計画に基づき、全学級で教科の学習と関連付けながら指導します。

糸魚川市の子どもは、9年間をかけて将来必要になるPC操作技術やインターネット・SNS等との正しい付き合い方を身に付けます。



注) 子どもは、一日中 iPad を使っている訳ではありません。必要なときに、必要なところでだけ使用します。

## Q & A

実際に始まると安心するのかもしれないけれど、聞いてみたいな。



### ノートや鉛筆、黒板は使わなくなるの？

自分の手で筆記することは、子どもにとって、とても大切な体験です。学びが定着する効果もあります。デジタルとアナログのよさを両方とも活かします。



### 家庭で準備することはありますか？

まずは、次の4点についてご確認ください。これ以外にも細かなことがあると思いますが、その都度、学校からお知らせすることになりますので、ご承知おきください。

- ① 「早寝・早起き・おいしい朝ごはん」を継続して、お子さんの生活リズムを整えるようにしましょう。正しい生活習慣は、子どもに贈ることができる最高のプレゼントです。ゲーム依存になったり、SNSトラブルの当事者になったりすることも防げます。
- ② 子どもが使用できる家庭でのデジタル機器（特にインターネットにつながる機器）のフィルタリング機能、メディアとの付き合い方などについて確認しましょう。
- ③ 今後、日常的な学習や不測の事態による休校措置などで、ICT機器を活用した家庭学習を行うことが予想されます。その際に課題となるのが家庭での通信環境です。未整備の家庭においては、定額の通信プランへの加入や Wi-Fi 環境整備などについてご検討ください。
- ④ タブレット用のペン（静電気式）をご用意いただきます。高価なものは必要ありません。百円ショップなどで入手できます。活動で必要になる際に学校から連絡があります。



### 万が一、壊れたときは親が弁償するの？



ご安心ください。令和3年度に貸与する iPad は、故意に壊した場合を除いて、糸魚川市で対応いたします。ご家庭では、機会をとらえて、「市から借りている物。大切に扱うこと。」とお話してください。

### 子どもや先生は、せっかくのiPadを使いこなせるの？

子どもは、「習うより、慣れろ」で使いながらどんどん覚えていくと思います。子ども同士の教え合いにも期待しています。教師も、研修会に参加したり、子どもと一緒に使ったりして慣れていくようにします。



令和3年度1学期を「いろいろお試し!チャレンジ期間」とし、2学期本格実施に向けて準備を進め、市内のどの学級でも子どもと教師が楽しみながら学習できるようにします。